# 婦選獲得同盟會報

第五號

## 會務報告

會務理事　市川房枝

### 第四年年次總會の決議實行

汎太平洋婦人會議に代表者を派遣するの件—昭和二年十二月二十七日の中央委員會に於て、會務理事市川房枝を派遣することに決定した。費用は特に麗日會から支出することに交渉、其の承諾を得た。

大會は八月九日より約一週間ハワイに於て開かれる筈であるから、代表者の出發は七月初旬か中旬となるであらう。

國際婦人參政權協會加入の件—久布白總務理事渡歐の際、直接ロンドンの本部を訪問して加入の申込をすることゝした。

總選擧に對する態度について—別項對總選擧特別委員會を設置して、總會決議の實行をはかつた。別項委員會報告を參照されたい。

### 中央委員會報告

總務理事の渡歐…總務理事久布白落實氏は日本代表として萬國キリスト教徒大會に出席のため昭和三年二月十五日東京出發渡歐した。來る五月末歸朝する筈であるが、留守中は規約により會務理事が代行することゝなつた。

然しそのため理事が二名となるので、中央委員會は臨時に田中芳子氏を理事に加へ、更に中央委員を一名增すことに決した。

中央委員の交迭—第四年次總會に於て選出されたる中央委員の中、大妻コタカ、井上たみ、坂本眞琴、秋山花子の諸氏は病氣、其他の差支の爲間もなく辭任され、山川房子、小林珠子、千本木道子、河崎夏子氏が補缺となりて加はり現在に至つてゐる。

中央委員會の回數—中央委員會は月二回を定例としてゐるが、臨時の會合が相當に多く、四月半迄に三十六回開催されてゐる。然して右會合には平均七八名乃至十名の出席をみてゐる。

### 會務報告

事務所の移轉—豫定通り五月一日に現在の麹町四ノ五に事務所を移した。家は二階三室下三室あるので、階上を事務所とし、下は婦人問題研究所に貸室したり事務員の泊る室に使用して來た。

電話は婦風會から無料で借りてゐたが、持主が變更されたゝめ、賃貸料を支拂つて使用して來た。

事務員の交替—幹事は前年より引續き金子茂氏が執務して來たが、書記の吉田のぶ氏は家庭の都合上四月に退職、中間ヒサノ氏が五月から引續いて就職して來た。尤も氏は十一月以降「婦選」の事務を手傳ふことになつたので更に今井つぎ氏が書記として二月まで在勤、四月からは稻垣たつ氏がかはつて執務してゐる。氏は令姉と共に階下に住むでゐる。

會員數—昭和二年度に於ける入會會員數は一百一名であつたが退會も多少あつた爲め全體に於てはそれ程增加せず、三月三十一日末現在は左の如くである。

正會員—三五六名
維持會員—四〇名
會友—四二名

會信の往復—過去一ヶ年間に於ける發信總數は一萬四百五十四通、受信二千六百七十七通に達してゐる。これを昨年末と比較すると受信數に於て約三割、發信に於て約三倍の增加を示してゐる。從つて記帳洩れの分まで加算すれば可成の數字に上るであらう。

## 各委員會報告

### ◇政治教育委員會報告

委員長　高野溪子

政治教育は婦選に取て大切な仕事で有ますが、委員が少數であつた上に昨年七月鷲尾氏、九月井上氏辭任され、今年三月大橋氏、北澤氏が委員となられた迄は殆ど無人の有様でしたから充分活動し得なかつた事を遺憾に思ひます。僅に試られた事は

（1）指導者養成の目的を以て毎中央委員會前の三十分間時事問題研究會を開く事とし、擔任を市川房枝女史に願ひましたが、七月一日及十五日の二回だけで其後双方とも都合つかず自然休止と成ました。

（2）一般に對しては、（a）昨年六月十一日神田神保町女子青年會で木村松代氏、圓地與四松氏を聘して時事問題講演會、（b）七月七日會員倍加週間に神田美土代町青年會館でガントレット恒子、竹内茂代、金子茂、藤間あさよ、高野溪子諸女史による婦選演説會、（c）九月廿六日麹町區三番町家政學院講堂で星野愛子氏、三輪田元道氏に乞て時事問題講演會、（d）十一月十七日本郷三丁目帝大佛教青年會館で吉岡彌生、久布白落實兩女史、並に星島二郎、山桝儀重、安藤正純諸代議士を得て婦選大演説會、（e）十二月十四日國民新聞講堂で八木橋きい、杉本敦子、鹽原靜、河崎なつ、生田花世、竹内茂代市川房枝諸女史による創立三週年記念演説會、（f）今年三月七日讀賣新聞社講堂で山田わか、吉岡彌生、小林珠子、市川房枝、竹内茂代、金子茂諸女史を辯士とする總選擧批判演說會等都合六回開催致しました。

（3）地方に對しては、昨年八月八日

## 重要日誌

▼四月五日　午后、本郷文化アパートメントに、各婦人團體代表者、女子教育家を招き、對議會運動報告會開催。

▼四月十八日　夜横濱市民同盟の講演會に市川會務理事出演、會後特に女子聽講者の懇談會あり、八木橋、金子も列す。

▼四月十九日　基督教婦人矯風會大會に、金子代表として傍聽、挨拶をなす。

▼四月廿四日　午前十時半より、本郷文化アパートメントに、第四年々次總會擧行

▼四月廿七日　夜婦選徹底會主催六郷村演說會に、宿利、金子出演。

▼五月一日　事務所を麹町區麹町四丁目五番地に移す。

▼六月十一日　午后一時より時事問題講演會を、神田北神保町基督教女子青年會に開催。「社會改造に於ける婦人運動」木村松代氏「支那の動亂と我が出兵」圓地與四松氏。

▼六月十三日　議會運動開始。

▼六月廿三日　夜千林廣人氏の厚意で「伸びゆく乙女」の試寫會を事務所に開く。

▼七月一日より一週間　會員倍加週間開催、其結果、正會員二五、維持會員四、會友二六を得。此期間中演說會を東京、横濱に開く。

▼七月五日　金子、茨城地方に遊說。請願書發送開始。

▼八月八日　新潟支部發會式、市川、河崎金子出席、夜紀念講演會。

▼八月十三日　電話移轉開通。

▼九月廿六日　夜麹町家政學院に、時事問題講演會開催、三輪田元道、星野愛子二氏。

▼十月二日　麗日會主催映畫會　青山會館



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新潟支部誕生の際に講演會及び今年三月十七日長野、十八日に小諸に於て婦人問題講演會を催し、河崎、竹內、市川、秋山、金子の諸氏が行かれました。猶個人として、中央委員及び熱心なる會員諸氏が東京及地方に於て種々なる會合の招きに應じ大に婦選を說かれた回數は政敎委員會の催しに倍するものゝ有つた事を附記して留きます。

## ◇議會運動委員會報告

委員長 塩原 靜

六月十三日政友會訪問、久布白市川金子の三氏と塩原、星島代議士の紹介にて總務高橋公威氏と面談す。河上政調副部長及び原惣兵衛今井健彥の幹事諸氏とも面談せり。

六月十八日より七月十五日迄請願書發送の爲各議會委員は努力せり。

七月十一日京橋區の補欠選擧に當選せる田川大吉郎氏の祝賀會に金子塩原二氏出席す。

九月末より請願書の整理を各委員にてなす。

十一月一日文化アパートに於て婦選諸案提出の打合せ會あり、星島加藤鯛一山桝の三代議士と市川金子高野の三氏と塩原等出席す。

十一月五日關西聯合婦人會に塩原出席の折共同運動に就き內交涉をなす

十二月十九日婦選事務所にて議會運動聯合打合せ會をなす、參政同盟の中林高橋の二氏日本參政權協會のガントレット恒子氏、婦選よりは市川金子の二氏と塩原出席參政同盟及び日本參政權協會も婦選獲得同盟と同方針の下に運動をなす事に決定す

十二月廿二日文化アパートにて提出各代議士打合せ會あり。星島加藤鯛一山桝福井原夫次郎の諸代議士、日本參政權協會のガントレット恒子氏參政同盟の中林高木藤原の三氏、婦選獲得同盟の市川久布白竹內金子の四氏と塩原、特に吉岡彌生氏等の出席あり。

十二月廿四日大阪より全關西婦人聯合會の政治部長井出菊枝氏委員小澤包子氏上京議會運動打合の爲なり

十二月廿五日政友會の井上孝哉氏と度々の面談の結果、公民權法律案の說明者として井上氏の手より提出と決定す。

十二月廿六日五十四議會の開院式の日なり。此日參政權法律案は田川大吉郎氏にて公民權は井上孝哉氏にて結社權は山桝儀重氏が各提出さる

十二月廿七日貴族院の松村義一氏により參政權公民權結社權共に請願書を紹介提出す。衆議院請願書提出は、參政權は星島二郎氏、公民權は加藤鯛一氏、結社權は杉浦武雄氏、各紹介者となり提出す、此の日久布白田中金子高野山川岡田の六氏と塩原等の手にて請願書貴衆兩院壹萬五千を持ち込む。

昭和三年一月廿一日午後貳時四十分第五十四議會は解散となる、制限選擧による帝國議會の最後なり。提出せる婦選三案は法律改正受付番號一號二號三號の記錄を殘して衆議院公報に請願書提出も共に響き殘るのみ

一月廿一日解散直後、市川房枝氏を委員長として對總選擧特別委員會を設立す。方策は婦選二月總選擧號に記載の如し。

二月廿日男子普選最初の投票日なり。開票の結果婦選三案の爲盡力せる田川大吉郎氏山桝儀重氏松山常次郎氏畔田明氏の四氏を惜しくも失なへり、當選せる關係各代議士には祝電を落選者には見舞の電報を發し、田川氏方には竹內茂代氏と塩原慰問に參邸す。

三月十二日本同盟提唱者となり各無產婦人團體及び既成婦人團體の贊成の許に第一回打合せ會を婦選事務所にて開き、會名を婦選獲得共同委員會となし無事成立す。特別議會に對してのみの共同運動なり。各團體より參名の委員を擧げ中一名を常任となす。

日本參政權協會、ガンドレット氏、築山氏。
關東婦人同盟、野坂氏山內氏柳氏。
參政同盟、中沖氏武部氏藤原氏。
婦選獲得同盟、市川氏八木橋氏塩原
社會婦人同盟、小池氏井上氏山本氏
勞働婦人聯盟、赤松常子氏赤松明子氏砂塚氏
全國婦人同盟、菊川氏織本氏松村氏

## ◇會員委員會報告

委員長 山川 房子

昭和二年度の會員委員會は、委員長八木橋氏と山川の二人で、後八木橋氏の御都合で、私が、委員長を、お請け致しました。

皆樣の、御助力で會員募集には十分盡した積りですが思ふ樣に捗りませんで、誠に申譯有りません。

現在會員は、三百九十六人、會友四十二人總體四百三十八人です。

この一年間の働きを左に御報告致します。

六月廿二日前後、議會運動部委員より請願書を全會員及び其他へ發送さるゝに付、入會勸誘のビラ一萬枚同封する。

七月一日より七日迄、會員倍加週間を設く。

七月二日橫濱基督敎青年會館に於て、講演開催、非常な盛會にて會員十名得る。

七月七日青年會館にて、政敎と講演會を開く。

八月八日新潟支部發會式擧行、本部より、市川、金子、河崎氏、出張す。

十一月十三日、京都聯合婦人會の懇談會に、市川氏、金子氏、出席

同十四大阪朝日新聞社にて關西婦人聯合會幹部の婦選懇談會に、右兩氏出席さる。

十二月十三日の創立紀念日を中心にして左の如く市內外各所に懇談會講演會を催す。

九日橫濱記念會に於て、
十日東京至誠病院內に於て、
十二日矯風會本部に於て、
十三日石本氏方に於て、
十四日國民新聞社講堂にて
十五日麴町事務所に於て
十六日小石川區興眞舍に於て
十七日四谷區山田氏方に於て
昭和三年一月十四日お茶の水文化に開催。

▼十月廿一日 記日會員招待茶話會を事務所に開く。
▼十一月四日 全關西婦人聯合會大會に代表として塩原防離に出席す。
▼十一月十七日 夜本鄕佛敎青年會館に婦選演說會開催。
▼十二月八日 婦人參政同盟より聯合運動參加申込。
▼十二月九日より一週間 創立記念週間を催し倍加運動、及各區の最寄會大演說會等を開く。
▼十二月廿二日 提出議員打合會を文化アパートメントに開催。
▼十二月廿四日 全關西婦人聯合會代表井出、小澤二氏上京、來所。
▼十二月廿六日 婦選三案提出さる。
▼十二月廿七日 請願書六種各千三百部貴衆兩院に提出。
▼一月四日 新年會。
▼一月九日 總選擧對策委員會成る。
▼一月十四日 午后會友懇談會開催。
▼一月十五日 晝夜、基金募集の觀劇會開催。
▼一月廿六日 研究會、關口泰氏「普選講座」。
▼一月廿九日 前中央委員山內綠子氏逝去、選擧應援開始。
▼二月一日 婦選達成委員會成る。
▼二月三日 岩崎須美子氏より、金一千圓寄附。
▲二月十五日 久布白總務理事東京發渡欧。
▼二月十八日 婦選達成デー擧行。
▼二月廿五日 午后文化アパートメントに總選擧報告會開催。
▼三月三日 共同委員會提唱發表。
▼三月七日 夜讀賣講堂に總選擧批判演說會開催。
▼三月十二日 婦選獲得共同委員會成立。
▼三月十七日 長野市、十八日小諸町に演說會開催、市川、竹內、秋山、金子出演。
▼三月廿一日 夜共同委員會主催演說會、本會より市川河崎出演。
▼三月廿七日 夜會友懇談會開催。
▼三月卅日 金子、山梨地方に遊說。



Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

アパートに於て第一回會友懇談會を催す。

三月十六日請願書調印者の内より三百名を撰び「會員勧誘狀を發送す。

三月二十七日麹町寶亭に於て第二回會友懇談會を催す。

尚十二月十七日四谷山田わか氏方の懇談會に於て四谷支部設立のことに決定、一月發會式を擧行する豫定でしたが、總選擧のため延期となりました。然し會合は四月四日竹内氏方にて第一回會合を開き、東京市道家勞働課長から婦人と自治政についての講演をきゝました。

## ◇財務委員會報告

委員　田中芳子

昭和二年度の財務委員會は、竹内河崎兩氏に三輪田繁子、大妻コダカ石本靜枝、三氏の新勢力を加へ大に確かりした原動力をつくらふと計劃したのであります。

ところが、河崎氏の病氣、三輪田石本、大妻三氏の已を得ない御都合でのお斷り、結局油の乘つた竹内氏が獨りで背負つて立派に歩いて下すつた様なものでした。

大會後早々には「婦選デー」と云ふものを定め其の日一日の收入を、本同盟に寄附する様の議もあつたのでしたが遂に實現の運びに至らず、一ケ年は早くも過ぎてしまゐました が、腕揃ひの本同盟の會員並に會友の事であるから、確に之は名案だと思ひます。もしや本年は機の熟した頃ではないでせうか。會員でもない岩崎須美子夫人が「普通選擧が愈々實施と云ふ時に分自は病身でお手傳も出來ないからほんの寸志だが運動費の中に加へて」と一千圓を本同盟に寄附されたの杯は全く天來の聲だと思ひます、機の熟した吉兆ではないかと思ひます。

秋の蹤日會主催の映畫會（純益九〇〇、五〇圓）新年の會主催觀劇會は（純益五一二三圓）共に豫定の收益を收め得た他本同盟を本當に知つて頂く良い機會になつた事は實に豫想外の大きな副産物でした。

尚會友平林廣人氏の好意により「伸び行く乙女」の活動寫眞フォルムの原版を寄贈されたので其純益を本會の資源に供することに致しましたが現在迄に一本賣却其他は紹介中であります。

無謀の豫算、と一部のお人から危ぶまれた昨年度の豫算が別に掲げてある様に收支共に大局に於て殆びつたりしたものであつたことは豫算を組んだ者として涙ぐまるゝ心地がします。

## ◇出版委員會報告

委員長　市川房枝

出版委員會とはいふもの丶專門的な技術を要するため結局幹事と委員長が專ら「婦選」の編輯經營に當ることになつて來てしまつた。從つて幹事及委員長が會務理事として乃至は對總選擧特別委員會、共同委員會等のために多忙になると自然「婦選」の發行が遅延するのやむなきにゐたつてゐる。

五、六月號を合併したのも、本年三四號を合併して目下校正中であるのもそのためである。尤も事務廣告はどうしても專任者を要するので、九月から十月迄今井氏に、十一月から中間氏に委嘱してゐるが、更に編輯にも專任者がなくてはなるまい。發行部數は毎號二千部内外で二月號は特に四千部印刷した。尚過去一ケ年間に於ける「婦選」の收支は次の如き狀態である。

### 昭和二年度決算

| | |
|---|---|
| 收入 | |
| 誌代 | 四七四、〇〇 |
| 廣告 | 三九五、〇〇 |
| 會より | 六〇〇、〇〇 |
| 借入 | 一〇〇、〇〇 |
| 計 | 一五六九、〇〇 |
| 支出 | |
| 印刷費 | 八五六、四八 |
| 郵稅發送費 | 一四五、六三 |
| 文房具 | 七五、八八 |
| 交通費 | 三一、七〇 |
| 編輯費 | 二五九、五〇 |
| 雜費 | 六三、二七 |
| 計 | 一四三一、四六 |
| 差引 | 一三七、五四 |

但し右の外最初よりの借入金　四二二、一五あり

## ◇對總選擧特別委員會報告

委員長　市川房枝

**總選擧に對する態度**

これは已に第四回總會に於て決議されてゐるので、一月五日組織された對總選擧特別委員會は、その決議に基づいて左の如き對策を立案し、中央委員の承認を經て解散即日即ち一月二十一日に發表した。

一、各政黨及各候補者に對し、婦選を政綱中に揭ぐる事を要求する

二、婦選を政綱中に揭ぐる候補者に對しては、その要求に應じて應援辯士の派遣並に推薦狀の發送を行ふ。

三、有權者に對し、棄權、買收其他不正行爲に左右されず、眞の國民の代表たるべき人物に、清き一票を投ずるやう要求する。

四、婦人に對しては、第三者として選擧を監視すると共に、有權者をしてその權利を來るだけ理想的に行使せしむべく努力することを要求する。

**候補者の應援**

辯士派遣申込候補者はすべてで約九十名の多數に上つた爲め政綱に婦選を加へた候補者といへども遠隔地及、遅れて申込まれた人達に對しては應援することが出來なかつた。

會から應援辯士を派遣した候補者は左の諸氏であつた。

藤森成吉氏（勞農黨）高橋龜吉氏（農民黨）畑桃作氏（農民黨）加藤鯛一氏（民政黨）片山哲氏（民衆黨）安部磯雄氏（民衆黨）星島二郎氏（政友會）杉山元治郎氏（日勞黨）小坂順造氏（民政黨）鈴木文治氏（民衆黨）宮崎龍介氏（民衆黨）三上英雄氏（政友會）戒能榮三郎氏（實同）爲藤五郎氏（民衆）

尚右の外會員の有志が個人の資格で應援した候補者は十三名に及んだ應援演説出演總回數は二七六回でその出演者内譯は左の通りである。

金子（六九）市川（三三）多幾山（二六）竹内（一九）小林（一九）藤田（一八）高野（一七）河崎（一六）田中（一六）田房（一五）千本木（九）以下略

激勵電報及手紙を發送した數は約八十名に及び推薦狀も二名發送した

**普選達成**

總選擧對策中の三四のために會員中有志によつて二月一日普選達成婦人委員會を組織し、吉岡彌生氏を委員長に、ガントレット氏、小林珠子氏を副委員長に推して、左の如き運動をすることゝした。

一、全國の婦人團體の協力を求め、各地にて決議の主旨の實行に努むる事

二、棄權防止その他の注意事項を印刷したるビラを、全國の婦人團體に送附すると共に東京市内に於ては、街頭に於て配布すること。

三、前項と同趣旨のポスターを作製し各所に貼布する事。

四、場合に依つては、普選達成デーを催し、街頭宣傳をなす事。

右の決議は二月四日開會された東京聯合婦人會にに於ても可決され連名にて二月十八日に東京は勿論全國各都市一齊に普選達成デーを行ひポスターを貼りビラを街頭で配布した

**報告會**

二月二十五日午後一時半より文化アパートメントに於て本委員會の報告會を開いた。市内在住會員の出席するもの六十餘名、これに會友、及傍聽者も加つて非常な盛會であつた

## 會計報告

會計理事　荻原眞子

昭和二年度の收支決算を左に御報告いたします。

### 收入内譯

**一、入會金（一〇一圓〇〇）**

杉浦サダ、千本木道、小池元子、大貫せつ、杉田鶴子、柴琴子、渡邊敏子、岡野幹子、鎌江みさを、田代文子、松宮しん子、菊川滋野、丸山千代子、矢野ケイ、岡地喜美子、藤原智淨、鳩山薫子、井出豐、橋本あや、寺田ちひろ、上野清美、貝川若葉、西安子、宮川春子、内田隆子嘉悦孝子、山脇房子、吉屋信子、鈴木小松、植竹つた、内藤良子、石川みち、高橋俊子、山室轍子、藤村菊、大柳春野、古小路まつえ、宮田たか、柘植愛子、小林珠子、山中シゲ、宮本梅子、生島歌子長崎千鶴、兒玉禮子、西島文子、鷲尾幾子、中村立子、小笠原嘉子、藤原かの、丸山不美、鮎澤コセキ、濱イツ子、宮坂榮子、栗林ツナ、熊井智卓、小松ゑい、宮坂ちか、鈴木さち、川崎レイ子、杏ふく子、齋藤良子、篠田せい子、木内アイ榊原彌生、小澤包子、井出菊江、中西榮田中順子、福島峯子、臼井竹志、町靜子鈴木澄、加藤ひさ、栂野はつ、齋藤百世下山松枝、寺島以登代、宗川綾子、折居留代、遠藤延子、尾上松子、生田利子、石川クエ、田中芳子、山口謙子、山高東村山世年、永井駿子、湯目孝子、佐藤耐子、武田睦子、村上秀子、神山莘子、三浦玉子、大赤栞子、首藤郁子、永井やそ榮山らく、池田榮、小森ハナ



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

## 二、正會員費(五三九、五〇)

・大正十三年度分―小澤豐子
・十四年度分―大篠けいし、井上三保子、留岡よし子、生田花世、河本龜子、本多貞子、小澤豐子、志垣みた、中野ゆき、
・高梨稹
・十五年度分―守屋東、紺野のぶ、前田園子、關口冬子、神八重子、矢崎ふさを、坂本眞琴、山野千枝、志垣みた、市河晴子、清水智惠、井上三保子、立野ソテ、岡田京、留岡よし子、生田花世、河本龜子、増山直子、本多貞子、諸澤美代、中野ゆき、西村キヌ、伊藤錦子、戸田康子、高梨稹、鵜崎つま、大篠けいし、小澤豐子、根本ふみ、大平悦子、關澤章子、千本木道子、矢島ヨシ、吉田千茂登、鈴木きわ、小池元子、山崎やま、布野かつ、土江ちよ、岩橋しな、吉村千代、渡邊榮、横尾きみ、北澤たま、伊藤きみ、蒲生さと、山本たれ、山東たい、清水稹、簾井くら、河井道子、山田田鶴子、松下光子、大藤八重子、田中藻子、笠原滿幾乃
・昭和二年度分―杉浦サダ、鈴野ふく子、大貫せつ、杉田鶴子、山田わか、柴琴子、岡野幹子、蛭江操、松宮しん子、菊川滋野、丸山千代子、圓地喜美子、藤原智淨、山川房子、紺野のぶ、村田ちゑ子、非出豐、鈴木小松、楯竹つた、矢島ヨシ、松本ヨシ、堀口きみこ、田中せき、内藤貞子、石川みち、高橋俊子、山室籬子、吉村千代、藤村彌、山東たい、高橋そめ、高倉つれ、清水たれ、大柳春野、古小路松枝、小林珠子、足達梅子、山崎よれ、國谷司郷子、森崎はる、森崎しづ、木村龜井、長崎千鶴、横尾きみ、多川澄子、生田花世、鈴木サチ、田崎レイ子、渡邊とめ、坂本紀亥、宮坂みち子、伊藤錦子、杏ふく子、前田園子、齋藤貞子、山野千枝子、篠田せい子、矢島美節、楠富枝、帆足みゆき、佐々木松枝、嶺きく、戸田康子、岡部萩子、中條きん子、星野愛子、橋本たみ、木内あい、高梨稹、榊原彌生、小澤包子、非出彌江、中西榮、當川せき、臼井竹志、町靜子、北澤玉子、足達梅子、高野溪子、八木橋きい、加藤ひさ、齋藤百世、坂本眞琴、藤間あさよ、市原壽美加藤高子、鷲尾鐵子、市河晴子、中山眞

| 年月 | 積立金 | 收入 繰越金 | 借入金 | 會費 正會員費 | 維持會員費 | 會友費 | 寄附金 | 利子 | 事業費 | 雜收 | 合計 | 支出 俸給 | 返濟金 | 事務所費 家賃 | 光熱 | 文房具 | 通信 | 電話 | 交通 | 雜 | 合計 | 運動費 | 大會費 | 印刷費 | 圖書費 | 器具費 | 合計 | 差引殘高 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和二年四月 | 九、〇〇 | 三六八、〇二 | — | 五八、〇〇 | 一二〇、〇〇 | — | 三、〇〇 | 〇、八〇 | 三七、八五 | 五、九九 | 五九二、六五 | 七八、〇〇 | 一六〇、六〇 | — | — | 二五、七六 | 一三、一八 | — | 七、九九 | 六、五三 | 五三、〇八 | 二五、七五 | 三六、七〇 | 一、六〇 | — | 〇、一五 | 四六、九二 | — |
| 同五月 | 四、〇〇 | — | 一六〇、〇〇 | 一七、〇〇 | 一〇、〇〇 | — | 一〇、〇〇 | — | — | 六、四〇 | 二〇七、四〇 | 三〇、〇〇 | — | 五、四六 | 〇、八〇 | 一五、九九 | 一四、六四 | 三〇、八〇 | 四、六〇 | 三、〇二 | 一四三、一四 | 五一、五五 | — | 二四、〇〇 | 三、三〇 | 一五、三三 | 二六四、一九 | — |
| 同六月 | 一一、〇〇 | — | 一五〇、〇〇 | 二九、五〇 | 三〇、〇〇 | 二、〇〇 | — | — | 二、五〇 | 二二、〇〇 | 二四五、〇〇 | 八〇、〇〇 | — | 五三、〇〇 | 一、五四 | 七、八八 | 二九、五六 | 〇、二一 | 五、二五 | 三、四〇 | 一〇〇、一〇 | 一三七、一七 | — | — | 五、二〇 | 三、九九 | 三二六、四六 | — |
| 同七月 | 一三、〇〇 | — | 一〇〇、〇〇 | 九四、〇〇 | 二二〇、〇〇 | 五四、〇〇 | 一〇、〇〇 | — | 八、四〇 | 一〇、五〇 | 四八六、九〇 | 八五、〇〇 | 五〇、〇〇 | 五三、〇〇 | 三、四一 | 一三、七七 | 一四、二六 | 〇、〇六 | 二、〇〇 | 一四、三六 | 一〇七、九二 | 一一一、〇七 | — | 二六、六〇 | — | 一〇、二〇 | 三九一、〇八 | — |
| 同八月 | — | — | 二五〇、〇〇 | 七、〇〇 | — | 二、〇〇 | — | — | 六〇、〇〇 | 一〇、〇〇 | 三五九、〇〇 | 一三〇、〇〇 | — | 五二、〇〇 | 一、四〇 | 〇、八五 | 四、九六 | 三〇、三三 | 一、一四 | 〇、四五 | 九一、二三 | 一四〇、六五 | — | 〇、六八 | 二、八〇 | 一、八五 | 三六七、三〇 | — |
| 同九月 | 一五、〇〇 | — | — | 四七、〇〇 | 一〇、〇〇 | 二、〇〇 | 一〇〇、〇〇 | — | — | 一〇、〇〇 | 一六九、〇〇 | 八五、〇〇 | — | 五三、〇〇 | 二、九九 | 〇、八〇 | 一、九四 | 三六、三二 | 三、〇五 | 〇、九八 | 九九、六七 | 四三、九二 | — | — | 五、〇〇 | — | 二三四、一八 | — |
| 同十月 | — | — | — | 一〇、〇〇 | — | 三、〇〇 | 八二、〇〇 | — | — | 一、三〇 | 八六、三〇 | 八五、〇〇 | 二〇〇、〇〇 | 五三、〇〇 | 一、七〇 | 三、八〇 | 三、二〇 | 五一、三三 | 五、五三 | 五、八五 | 一一一、八一 | 一九〇、五九 | — | — | 二、八〇 | 一、三五 | 五九一、五五 | — |
| 同十一月 | 七、〇〇 | — | — | 二八、〇〇 | — | 二、〇〇 | 九九、五〇 | 一、一五 | 一四、〇〇 | — | 一四四、六五 | 八〇、〇〇 | — | 五三、〇〇 | 八、三〇 | 一、〇六 | 二一、八四 | 三、三六 | 一、四五 | 〇、八五 | 九六、六八 | 一三七、一八 | — | — | 二、八〇 | 〇、九五 | 三〇九、二五 | — |
| 同十二月 | 八、〇〇 | — | 三〇〇、〇〇 | 一二八、〇〇 | 一〇、〇〇 | 二、〇〇 | 二一一、七〇 | — | 三、一〇 | 三五、〇〇 | 六九八、八〇 | 一三〇、〇〇 | — | 五二、〇〇 | 六、三七 | 五、三七 | 一四、〇七 | 一七、五五 | 〇、八〇 | 九、九六 | 一六五、七七 | 二〇四、七五 | — | — | 二、八〇 | 九、一〇 | 五〇〇、四〇 | — |
| 昭和三年一月 | 一〇、〇〇 | — | — | 六三、〇〇 | — | 六、〇〇 | 一〇〇六、〇〇 | — | 五〇〇、〇〇 | — | 一五七五、〇〇 | 三五、〇〇 | 二〇〇、〇〇 | 五二、〇〇 | 八、九七 | 五、四七 | 三四、〇一 | 四〇、二八 | 〇、三四 | 七、五〇 | 一四八、五七 | 一〇〇、四四 | — | — | 二、八〇 | 三、四四 | 四九〇、二五 | — |
| 同二月 | 七、〇〇 | — | — | 二七、〇〇 | — | 二、〇〇 | 七、〇〇 | — | 一三、〇〇 | 四五、〇〇 | 九四、〇〇 | 七一、〇〇 | — | 五二、〇〇 | 七、三三 | 四、二四 | 二三、二一 | 一、五五 | 四、一四 | 二、五五 | 九五、〇二 | 四三、二七 | — | — | 三、〇五 | — | 二一一、三三 | — |
| 同三月 | 六、〇〇 | — | — | 二一、〇〇 | 三〇、〇〇 | 四、〇〇 | 二八〇、〇三 | — | 一七、四〇 | 一五、〇〇 | 三七七、四三 | 一三〇、〇〇 | 四八〇、〇〇 | 五二、〇〇 | 一四、〇二 | 三、一四 | 三三、九三 | 四、四五 | 六、〇九 | 五、二五 | 一二六、七九 | 六七五、〇六 | — | 三、〇〇 | 三、六〇 | 六、六〇 | 一四二五、〇五 | — |
| 合計 | 一〇一、〇〇 | 三六八、〇二 | 九六〇、〇〇 | 五三九、五〇 | 四四〇、〇〇 | 七九、〇〇 | 二五三八、二二 | 一、九五 | 六七五、二二 | 一六〇、一九 | 五七六二、一〇 | 一〇〇九、〇〇 | 一二九〇、六〇 | 五七五、四六 | 六六、一二 | 八二、八〇 | 二三五、八二 | 二一六、四九 | 四一、四七 | 六九、六一 | 一三三七、七五 | 一八四〇、三五 | 三八、七〇 | 五五、八八 | 三四、七五 | 六九、六九 | 五五六六、七三 | 一九五、三七 |

子、淺野喜代、清水智惠、野呂兼子、石井小夜子、謡井くら、河非道子、下山松枝、寺島以登代、山田田鶴子、松下光子、鵜崎つま、中村立子、山中シゲ、田中壽子、大篠けいし、榊原かつの、宗川綾子、日能てる子、折居留代、山崎やま、鐵原靜、大石よれ、工藤しのぶ、高田みちよ、山田わか、木内キヨカ、關口冬子、森操、遠藤延子、尾上松子、名出郁子、笠原滿幾乃、石川クエ、田中芳子、山口輝子、山高東、村山世年、吉岡ふさ、渦目孝子、津田梅子、村上秀子、三浦玉子、神山幸子、大亦斐子、首藤郁子、永非やそ、築山らく、佐藤岡枝、藤原かの、根本ふみ、岩橋しな、本多貞子、諸澤美代、中野ゆき、西村キヌ
・昭和三年度分―高梨稹、吉岡ふさ、大橋豐喜、小森ハナ、松村よし、佐藤耐子、圓地喜美子、山東たい
・四年度分―高梨稹

## 三、維持會員費(四四〇、〇〇)

・大正十五年度分―皆利梅子、河崎なつ子、石本靜枝、中谷浩子、沼澤孝、山脇房子、飯田いせ、松本トヨ
・昭和二年度分―皆利梅子、林歌子、石本靜枝、田中峯千代、田中芳子、井上たみ、鳩山薫子、竹内茂代、秋山花子、嘉悦孝子、大隈コタカ、三輪田繁子、吉岡彌生、吉屋信子、久萬芳子、永井次代、中谷清子、春田たか、横江芳江、南美惠、中澤美代、宮田たか、柘植愛子、羽仁もと子、松本トヨ、久布白落實、大森百合、市川房枝、小川淑子、十文字こと、大江スミ、松村キン子、寺澤せき、有本よし枝、金子茂
・昭和三年度分―石本靜枝

## 四、會友費(七九、〇〇)

・昭和二年度分―川崎業海、安藤政吉、植竹褒重、渡邊榮、中澤駿太郎、近藤乾郎、小田厚太郎、柳瀬馨、兒玉四郎、大平規吉川義章、鍾坂良盛、鍾坂盛行、綱晋一久保山武雄、大柳政一、市川源三、野口援太郎、福島四郎、芦田晃道、杉村鉄石川己喜、秋山遠道、小澤直重、栗本正治、松倉慶三郎、平林廣人、田子一民、臼田俊嗣、岡本仙助、伊藤長七、惠美隆義、橋本清之助、三輪田元道
・昭和三年度分―松倉慶三郎

## 五、借入及立替金(九六〇、〇〇)

竹内茂代氏(三八〇、〇〇)田中芳子氏(二三〇、〇〇)市川房枝氏(一五〇、〇〇)萩原眞子氏(一〇〇、〇〇)久布白落實氏(一〇〇、〇〇)

## 六、寄附金(二五三八、二二)

米納久吉氏(一〇、〇〇)渡邊榮氏(一、〇〇〇)岡野幹子氏(一、〇〇)井上たみ氏(一〇、〇〇)宮澤いく氏(一〇、〇〇)婦日會(九〇〇、五〇)三輪田元道氏(五、〇〇)星野愛子氏(五、〇〇)高桑きく子氏(三、〇〇)風山春子氏(三、〇〇)跡見李子氏(一〇、〇〇)山田わか氏(一、七〇)岡村金太郎氏大人(五、〇〇)生田花世氏(五、〇〇)間島みのへ氏(一、〇〇)大澤夏江氏(五、〇〇)岩崎すみ子氏(一〇〇、〇〇)大澤豐子氏(五、〇〇)津田梅子氏(二一、〇〇)堀間つるよ氏(五、〇〇)竹内茂代氏(八六、〇〇)秋山花子氏(六、八〇)金子茂氏(一二七、二二)高野溪子氏(三〇、〇〇)市川房枝氏(二一五、〇〇)ガンドレット恒子氏(二七五、〇〇)

## 七、利子(一、九五)

振替貯金利子(〇、八〇)銀行預金利子(一、一五)

## 八、事業費(六七五、二二)

總會會費(二九、三五)懇談會費(二二、八〇)演說會入場料(六三、一〇)觀劇會純益(五一三、〇〇)新潟支部發會講演會費(六〇、〇〇)

## 九、雜收(一六〇、一九)

議會聯合運動立替金戻り(三、四〇)室代(二〇、〇〇)婦人問題研究所家賃(五七、二九)マーク代(一、五〇)電話料金(一、五四)古新聞賣却代(三、三五)

## 編輯後記

▼總會での詳しい報告のかはりに印刷しました。然し第一回の婦選議會を前にし、殆ど連日といふ程獲得共同委員會の會合があり、現に總會を明日に控えた今夜もその演說會があるといふ次第ですから、內容形式共に不滿足の點が少くありません。
▼報告內容は殆ど其都度「婦選」誌上に掲載して來ましたから御參照願ひます。
▼第五年年次總會に關する件は何にも掲載しませんでした。それは次號の「婦選」に掲載いたします。(ふ)

昭和三年四月二十日印刷納本
昭和三年四月二十二日發行
編輯兼印刷發行人　市川房枝
東京市麴町區麴町四ノ五
發行所　婦選獲得同盟
電話九段一七一九番
振替東京七〇三八三番
印刷所　京橋區木挽町一ノ十一　近□印刷所